

海外出向者 赴任前に推奨される予防接種項目の検討

各拠点ごとに必要な接種項目と概算金額

名鉄病院予防接種センター推奨・参考資料

ワクチン費用は税込み1回の費用。概算項目には国産ワクチンで記載したが、実際は輸入ワクチンを推奨することが多い。日本脳炎とDPTは国産ワクチン優位。先進国はTdapを推奨。
【◎必要、○推奨、△条件付き、×不要 など】 ◎は会社負担してあげてください。特に必要なものです。できれば○も負担ください。

接種項目	1回接種費用 税込み	A社の拠点営業所のある国へ渡航時推奨ワクチンの種類							参考地域			
		アメリカ	タイ	中国	ベトナム	インドネシア	メキシコ	インド	ドイツ	チェコ	ブラジル	ケニア
A型肝炎	7,700円	◎/×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎/×	◎	◎	◎
B型肝炎	5,500円	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ポリオ	9,500円	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○
日本脳炎	6,700円	×	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	×	×	×
破傷風	4,500円	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DPT	4,500円	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ	4,900円	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
狂犬病	15,500円	×	○	○	○	○	○	◎	×	×	◎	◎
腸チフス	10,000円	×	×	×	△	△	△	◎	×	×	◎	◎
4価髄膜炎	23,300円	×	×	×	△	△	△	◎	×	×	◎	◎
ダニ脳炎	11,000円	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	×	×
黄熱	23,300円	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎
麻疹風疹おたふく かぜ水痘抗体検査	5200円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
麻疹/風疹	9,000円	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
水痘	7,500円	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

より有効で有用な輸入ワクチンの費用と回数
《初診料・選定療養費は不要》
輸入A型肝炎;12300円、輸入A型肝炎B型肝炎混合;14000円、
輸入B型肝炎;8000円。輸入A型肝炎は2回、B型肝炎含むのは3回
成人のB型肝炎は輸入を推奨。2回で輸入は80%、国産40%程度有効
国産ワクチンが優秀で安全。海外では入手不可能。渡航前に1－2回済ませる。
破傷風の流行はなく単独接種は無用。DPTで追加する。
DPT(ジフテリア、破傷風、百日咳)三種混合;4500円、Tdap;10000円、
DPT-IPV;10600円 百日咳は世界中、ジフテリアは途上国で流行。
より安全有利な輸入Verorab;11000円、国産は3回接種、輸入なら2回でもいい。
腸チフスは旧型;TyphimViが認可されたが、Typbar;10000円を推奨
輸入Nimenrixは;15000円、公務員(自衛官、警察官)は国内認可を利用。
輸入のFSME-immune;11000円と同等ワクチンが国内認可された。
yellow card費用を含む。生涯有効。
初診時に麻疹風疹おたふくかぜ水痘抗体検査をして不足分のみ追加。
抗体検査は4種類で5200円、結果は最短3－4日で判明し電話回答可。
追加で推奨の輸入MMR《麻疹風疹おたふくかぜ》3種混合は10000円
おたふくかぜ;6000円、風疹;6000円。《検査のみ希望時は相談料3300円》

渡航ワクチンの選択は個人で異なります。年齢と行動と、接種記録(母子手帳や先回渡航時)によって、必要な種類とその間隔を専門的に判断して接種します。
母子手帳が手に入れば持参、あるいは内容を写メッテ来てください。以前の渡航ワクチン記録もあれば持参ください。

国産/認可ワクチンの成人接種回数

A型肝炎	3回	水道水が飲めない地域は原則必要。米国の南西部の州は推奨。中南米への出張者は必要。国産は3回、輸入は半年あけて2回。
B型肝炎	3回	世界中で定期接種。米国でも生直後(翌日)に1回目を始める。キャリアが多いので、途上国では3回接種後に陽転確認を推奨。 国産B型肝炎は成人には不十分。輸入単独、A型肝炎混合を推奨。
ポリオ	1－2回	日本人はOPVで2回で30年以上有効。インド周辺・中東・アフリカ渡航には1－2回追加。 留学は4回接種、且つ4歳過ぎに1回の接種証明を要求。
日本脳炎	1－2回	アジア(東・東南・南)は流行地域。インドとその周辺地域は特に注意。近年オーストラリアでも流行がある。 基礎免疫があり、最終から20年以内は1回、それ以上は2回追加。国産で済ませる。
麻疹/風疹	1回	接種回数ではなく、初日に「麻疹風疹おたふくかぜ水痘抗体検査」で陰性のもののみを追加する。十分な免疫があれば不要。2回済みでも30%は陰性。直接接種は無駄が多い。
水痘	1回	水痘は罹患記憶が比較的確かでほぼ間違いない。しっかりした記憶や記録があれば不要。 異なる生ワクチンの接種間隔は、4週間以上、同じ種類は2－3か月あける。
インフルエンザ	1回	渡航する地域と季節で検討。南半球は日本の初夏から夏季に流行。 突然の新型変異には緊急接種で対応。
破傷風	0回	破傷風単独は渡航ワクチンとしても無用。接種してはいけない。接種記録が不明なら、年齢によってDPT/DPT-IPVまたはTdapで接種計画する。1か月開けて2回接種、1年後に3回目。 DPT(ジフテリア、破傷風、百日咳)三種混合またはTdap《成人/先進国用DPT》で通常は1回追加する。インドとその周辺は4種混合(DPT-IPV)を利用する。
狂犬病	3回	曝露前接種(事前接種)は原則2回とその英語表記の接種記録が必要(2018/WHO)。その場合も哺乳類に咬まれてから2－3回の追加接種が必要。 ベトナムは事前に3回接種して記録を持参する。他は原則2回の曝露前接種記録で10年ほどは有効とされているが10年後の追加を勧める。 ワクチンが手に入る地域なら曝露前接種は不要。米国など先進国でも哺乳類(コウモリも含めて)に咬まれるリスクの高い行動者(獣医、動物業者、洞窟探検、トンネル工事など)は3回接種を推奨。
腸チフス	1回	A型肝炎と同様に食事で感染する。インド周辺国へは必要。途上国で郊外へ行く機会があれば推奨。
4価髄膜炎	1回	米国への留学生は12歳で接種。5年毎に追加。途上国での欧州でも幼児期に接種、地域のよってはB群髄膜炎も要求される。
ダニ脳炎	3回	ダニ脳炎は、Ticobacが北海道向けに認可。 ドイツおよび以東の東欧・ロシア・中央アジアで推奨、シベリヤから北海道達する広範囲のベルト地域。
黄熱	1回	アフリカ中央部、西部地域、南米ブラジル周辺地域への渡航、移動に際して必要。国際検疫病